

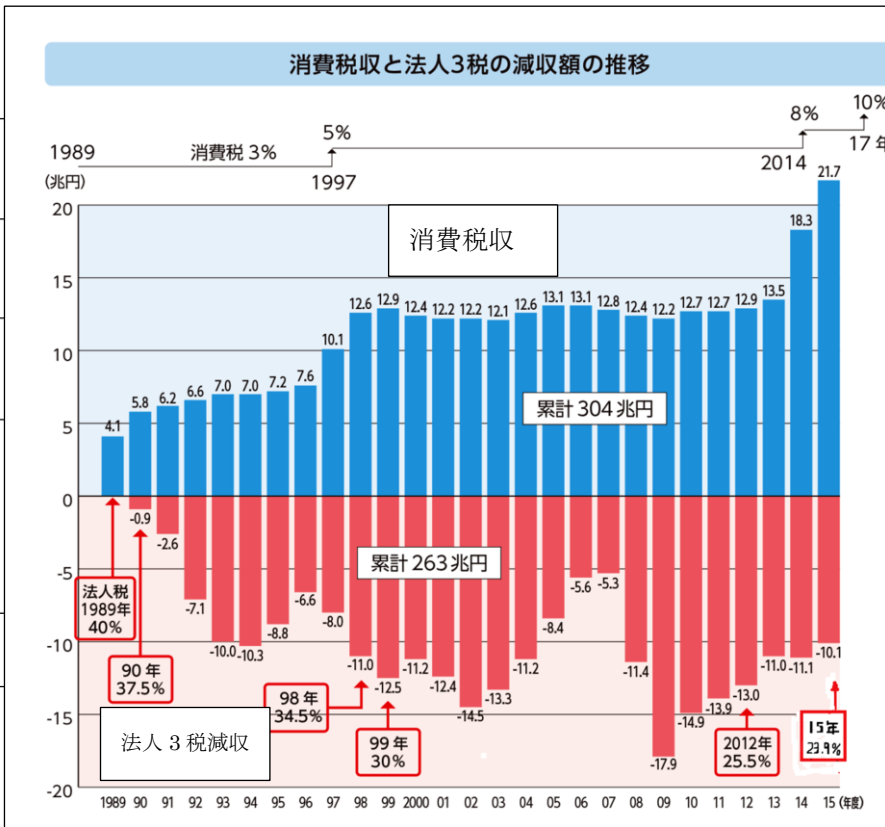
# 消費税 10%は中止、廃止の声を広げよう！

消費税は社会保障のために使われていません。安倍政権の社会保障改悪の実態は表の通りです。また、2018年から公的年金給付額を低く押さえる年金改革関連法案が衆議院で審議中です。低年金者ほど打撃を受けます。

## 安倍政権下で進んだ社会保障の負担増・給付減

年金	支給額 実質 3.4%引き下げ (月 10 万円支給の人で 3400 円減)
医療	70~72 歳の患者負担 1 割→2 割 入院給食費 1 食 260 円→360 円→460 円値上
介護	利用者負担 1 割→2 割(一定所得以上) 施設の食費・居住費 年 80 万円も値上げ
生活保護	生活扶助・冬季加算・住宅扶助を削減 生活扶助費は母 1 人子 1 人で月 4580 円減 子ども 2 人で 1 万 3140 円減、3 人で月 1 万 5960 円減
保育料	年 10 万円~30 万円以上も値上げ
保険料	国民年金 年 7320 円値上げ 国民健康保険 (1 人平均) 年 2321 円値上げ 介護保険 (65 歳以上平均) 年 6504 円値上げ

## 消費税導入後 26 年間、法人 3 税減収の穴埋めに



国民の声と運動で10%中止を  
消費税8%への増税は、国民の暮らしや営業を脅かしています。今、消費税10%増税を「延期」するべきとの声が出ています。これは国民の給与は上がらず増税後の影響で個人消費が減っているためです。経済学者が増税に反対しており、カナダのように付加価値税(消費税)を引き下げるのも、当然の判断です。アベノミクスは破たんしています。脱原発、沖縄新基地建設やTPPなどのアベ自公政権に対する怒りの声とも連帯し、政権を追い詰めています。増税中止・廃止の声をひろげましょう。